

生体認証スペシャルセッション 参加者募集

日頃より JAISA 生体認証の取り組みにご関心いただきありがとうございます。
新型コロナ感染拡大が収束、情報経済社会が大きく変わろうとしています。その一方で、軍事侵攻や多様化・
悪質化する犯罪など、安全・安心を脅かす問題が発生しているとともに、事業継続に向け、人手不足解消や
付加価値向上の必要性も出てきています。

本セッションでは、その問題解決手段のひとつである人工知能（AI）と生体認証（Biometrics）を取り上げ、
日本を代表して国際規格策定に取り組んでいる専門家の方から、導入時の注意点をわかりやすく解説いただ
きます。人工知能と生体認証の導入を検討されている方は必見です。

— 記 —

■開催概要

- (1) 日時：2024年8月21日（水） 14:30～17:00（開場 14:15）
(2) 開催：(一社)日本自動認識システム協会(JAISA) Microsoft Teams 会議システム
(3) 募集：100名(事前予約制、先着順) 参加費：無料（募集一次締切：8月6日（火））

※ 参加登録者には参加要領（参加用 URL、注意事項等）は8月7日（水）にお送りします。

■プログラム

1. ご挨拶	14:30～
経済産業省 イノベーション・環境局 国際電気標準課 課長補佐 高橋貴洋氏	
2. 人工知能（AI）と生体認証（Biometrics）の国際動向	14:40～
－ 国際的な法制度と国際規格・国内ガイドライン等の制定状況について－	
(1) EU AI Act とシステム管理規格 －ISO/IEC 42001・ISO/IEC 9868	
ISO/IEC JTC1/SC37 委員長 ／ SC42 WG5 主査 坂本静生氏（日本電気株式会社）	
(2) 性能改善評価に便利な新精度評価方法 －ISO/IEC 5152－	
ISO/IEC JTC1/SC37 幹事 ／ SC37 WG5 主査 山田茂史氏（富士通株式会社）	
※ISO/IEC SC37（バイオメトリクス）、WG5（テスト&レポート）の国際標準化組織	
3. スペシャルトークセッション	16:10～
－人工知能（AI）や生体認証（Biometrics）システム導入で注意すべき点など－	
坂本静生氏（日本電気株式会社）	
山田茂史氏（富士通株式会社）	
4. 事務連絡	16:40～

※諸般の事情により、予告なくタイトル、講師等が変更になる場合があります。あらかじめご承知おきください。

■セミナー参加申込

JAISA 個人情報保護方針(https://www.jaisa.or.jp/privacy_policy.php)をご確認の上、下記 URL の申込
フォームに必要事項を記入し、お申し込みください。

><https://reg18.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=oeka-lhsbre-a3dfa64b23d8d639bc3e124e69d5b9c8>

<略号等>

- [1] EU AI Act : European regulation on artificial intelligence (AI)
- [2] SC37 : Sub Committee Biometrics
- [3] SC42 : Sub Committee Artificial Intelligence
- [4] ISO/IEC 42001 : Artificial Intelligence Management System (AIMS)
- [5] ISO/IEC 9868 : Remote biometric identification systems — Design, development, and audit
- [6] ISO/IEC 5152 : Biometric performance estimation methodologies using statistical model